



川内村室内型村民プール
「もりたろうプール」

メインプール。村内の平伏沼がモリアオガエルの繁殖地として国指定天然記念物となっていることから村のマスコットはカエルの「もりたろう」。イラストが館内や外構の看板などに描かれている



川内村室内型村民プール 「もりたろうプール」

福島県川内村

避難民が村に帰るきっかけとなる屋内温水プール
復興庁「子ども元気復活交付金」の助成を活用

文=編集部

屋外施設だった村民プールが屋
内温水プールとなったことで、
子どもたちは年間を通じて安心
して全身運動を行うことができ
るようになった

把握していた住民は3038人
だったのに対し、14年7月時点で
村が確認している完全帰村者は
609人、死亡者等を除いた避難
者は1955人だった。そこで村
では「川内村第4次総合計画」に
基づき、生涯学習、文化活動、生
涯スポーツを柱とした「心の豊か
さとゆとりある村づくり」、子育
て環境の充実を図るため、村民
プールの改築が計画された。小・
中学校では、帰村した子どもの数
が3割ほどで、外遊び機会を失い、
肥満傾向も課題となっていた。以
上のことから放射線量不安や、降
雪の影響に左右されず年間を通じ
た使用が可能な温水型の屋内競泳

用プールと小児用プールの整備に
よって、通年で子どもたちの運動
機会を確保する必要があった。

施設整備計画および概要

施設整備は13年度に既存プールの解体、地質調査を実施し、基本
および実施設計を策定した。14年
度に本体工事、15年度から外構工
事に着手し、16年2月に完成、4
月3日にオープンした。

総事業費は8億9939万5000
0円で、このうち2分の1は復興
庁の「子ども元気復活交付金（福
島再生加速化交付金（福島定住等
緊急支援）」の助成が適用された。

完成した施設は、25m×6レ
ーのメインプールと幼児用プールの
軽運動室および諸室で構成されて
いる。村などが主催する大会や行
事として競技会が行えるよう、標
準競泳プールの寸法として全長25
m、水深は最深130cm、コース
幅を確保するものとしているが、
公認取得は行わない。メインプ
ールのスロープ以外にも施設内の動
線はバリアフリー化し、障がい
者の利用に配慮されている。水中
歩行や健康法プログラムの教室等
での使用にも対応している。幼児
プールには小さな子どもが楽しめ
るよう滑り台を設置した。児童、
初心者、高齢者、障がい者、さま

さまざまな利用層が気軽に楽しめる施
設となっている。

施設運営について

新施設の愛称は天然記念物「モ
リアオガエル」の繁殖地が村内に
あることから、これをモチーフに
した村のマスコット「もりたろう」
が由来となっている。旧施設同様、
隣接する川内中学校の授業やクラ
ブ活動に使用されるほか、村民以
外の利用も可能である。

施設の管理運営には指定管理者
制度が導入されている。プールを
はじめとするスポーツ施設の指定
管理者業務や体力づくり事業の実
績が豊富な(株)フクシ・エンター
プライズが選定されており、施設で
開催されるイベントは、村の予想
を上回る成果を挙げ、利用促進を
後押ししているという。

本施設は、村のほぼ中心に位置
し、国道から接続していることか
ら、アクセスも容易である。平日
夕方や休日に、親子連れで来場し
やすい立地である。また、中学校
に隣接している点で、最も運動機
能の発達が望まれる10代の利用促
進が期待されている。子どもたち
の体力づくりに資する施設は、地
域コミュニティが再構築される拠
点施設として、村民の帰還促進の
シンボルとなっている。



はじめに

川内村は福島県の浜通り地方の
内陸部、阿武隈高地にある人口
2700人あまりの自治体であ
る。大滝根山など起伏の多い山岳
に囲まれた高原性盆地で、夏は朝
晩が冷涼、冬は積雪が少ないが氷
点下になることもある。これまで
村では総合グラウンド、村民体育
センター（体育館）、旧村民プ
ール（屋外）をスポーツの中核施設
と位置付け、村体育協会など各ス
ポーツ団体が連携しスポーツ振興
を図ってきた。

屋内プール整備の背景

2011年の東日本大震災に伴
う原発事故により一時は全村避難
が行われた。村は屋外型の村民
プールを有していたが、震災によ
り設備が損壊、プールもひび割れ
等により使用不能となっていた。
小学校のプールは水深が浅く中学
生の使用には適さなかった。12年
4月から行政機能や保育園、小・
中学校、各スポーツ団体の活動が
再開され、村民の帰村が進むにつ
れ、イベントや大会が村内で開催
されるようになると、施設の利用
も活発化していた。一方、帰村が
始まったとはいえ震災時点で村が



上/メインプール。コースロープにより6レーンに分かれ、うち1レーンは歩行運動等に用いられている 下/幼児用プール。水深50~70cmで滑り台が備えられている



設計のコンセプト

本施設は、鉄骨造平屋建（一部2階）、延床面積1568・05㎡の屋内型温水プール施設である。本設計にあたり、以下のコンセプトを挙げた。

- ① 村民、皆から親しまれ愛される施設づくり「よってけプール」
- ② 開放的で出会いと触れあいを創出し、快適な内・外部環境
- ③ 誰もが利用しやすいバリアフリーデザイン
- ④ コンパクトでフレキシブルかつ多様な利用形態に対応

以上、4点である。

配置計画

川内中学校に隣接する建物は、周辺の景観と調和し、村民の憩いの場となるような魅力ある施設とした。駐輪・駐車台数の確保など利用者のアクセシビリティを考慮し、身障者用車両の駐車スペースも確保している。

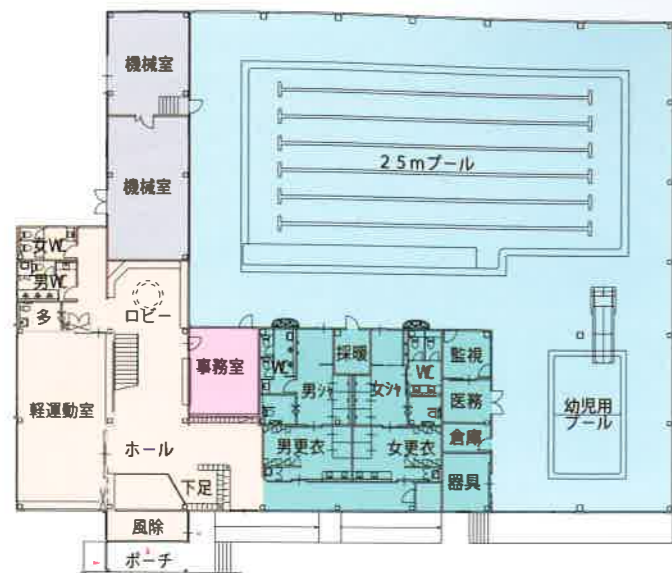
館内の配置については、プール室は東面の川沿いの景観を望み、四季の移ろいを感じながら、遊泳できる位置付けとした。幼児プールは燦々と陽光が入る南西に配置している。監視室はL字型のプール室を一望できる位置に置くこと



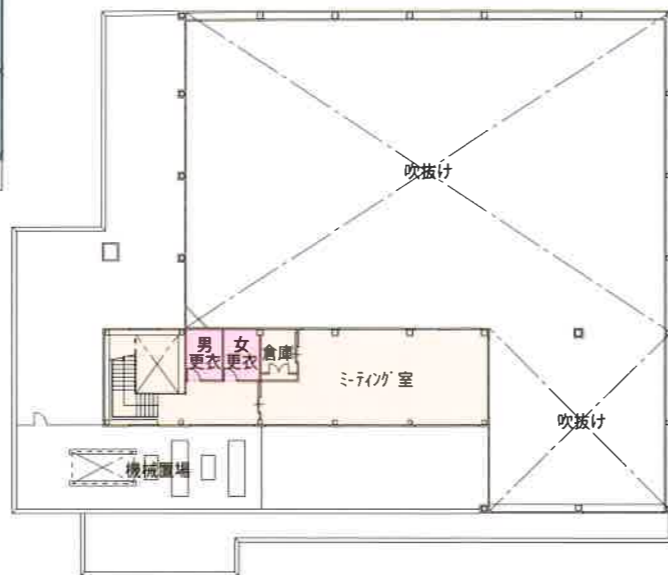
誰にも利用しやすく 多様な利用形態に対応

文 = ㈱土田建築設計事務所 企画室長 飛木 佳奈

外観。村の中心部に位置するプールは隣接する中学校の水泳の授業にも使用される。乗用車45台分の駐車場も整備され村外から車で訪れる利用者もいる



1F



2F



施設 DATA

<施設概要>

施設名/川内村室内型村民プール「もりたろうプール」
所在地/福島県双葉郡川内村大字下川内字宮渡18-1
電話番号/0240-23-5861 (指定管理者)
総事業費/約9億円 (外構工事を含む)
発注者/川内村
設計・監理/(株)土田建築設計事務所
設備協力/(株)建築設備設計研究所
指定管理者/(株)フクシ・エンタープライズ
建築面積/1,469.85㎡
延床面積/1,568.05㎡
プール槽面積/25mプール (318.52㎡) 幼児用プール (36.0㎡)
主な施設/25mプール (5レーン・スロープ付歩行用1レーン)、
幼児用プール (ウォーターライダー付)、探暖室、軽運動
室、ミーティング室、更衣室・WC・シャワー室
(各男女・多目的)

<主な施工業者>

施工者/丸川建設(株)
膜屋根・膜天井/太陽工業(株)
FRPプール/ヤマハ発動機(株)
ろ過機/昭和鉄工(株)
温水・床暖ボイラー/昭和鉄工(株)

<工期>

2014年12月~2016年2月

<利用案内>

開館時間/9時30分~20時30分
休館日/毎週火曜日 (火曜が祝祭日の場合は翌日)
交通/国道399号をいわき市から車で約1時間



右上/2階のミーティング室からはメインプールを一望することができる。左上/更衣室。エントランスからシャワー室、プール室までの動線は車いすでもスムーズに移動できるよう計画されている。右下/探暖室。泳ぎ終わりに更衣室へ向かう前に冷えた身体を温める場合に使用する。左下/軽運動室。個人利用のほか、住民の健康増進に向けた指定管理者によるさまざまな教室事業等が行われている。

により、死角ができないゾーニングとしてしている。開放感あふれるバリアフリー施設であることはもちろん、村内の小中学校が冬に利用すること、村民が気軽に健康づくりやコミュニケーションを楽しむ機会を提供する空間となるデザインを心がけた。メインプールは(公財)日本水泳連盟プール公認規則に定める一般競争プールに準ずるプールとした。6レーンのうち1レーンは、水中歩行用兼用コースとして車いすでの入水や、体力低下の著しい高齢者に対しても安心して利用できるスロープを設けた。幼児用プールにはレクリエーション的要素のある設備として滑り台を設置し、子どもが喜んで水

に親しめる環境とした。「プール健康法」等のプログラム実施を考慮した軽運動室を館内に設けたことにより、陸上と水中での総合的な運動効果が得られる施設が実現した。プール室内の動線は、コース側から更衣室およびトイレへの進入路を配置し、プールへ戻る際に使いやすい位置にシャワーを設けている。身障者用更衣室およびトイレにも付き添う人を十分配慮した施設設計とした。施設の天井および屋根には、採光しやすい「酸化チタン光触媒コーティング不燃膜材」をプール室の一部に施工利用した。これにより、日中の照明器具使用による電力消費を削減することが可能となった。また、この素材は地震発生時における落下等の二次災害を避けることができるほか、再塗装などのメンテナンス費の削減にもつながる。

子どもの笑顔あふれるプール

先日、開設後に初めて写真撮影のために訪れた。ウォーターライダーで遊ぶ子どもたちの笑顔が輝いている。あの無心な大きな笑顔を目の当たりにし、本施設の計画に意味があったと、心の底から実感することができた。

信頼と社会貢献をモットーにスポーツ施設・健康づくり施設の運営を行っています

指定管理者制度導入に伴う、公共スポーツ施設の管理運営
プール(屋内・屋外)・体育館・トレーニングルームなど各種スポーツ施設の管理運営
スポーツ教室、健康づくり事業、介護予防事業の企画・指導
トレーニング機器、プール用品など各種スポーツ用品の販売

総合スポーツ企画・指導・運営
株式会社フクシ・エンタープライズ
本社/〒1136-0072 東京都江東区大島1-9-8
TEL:03-3681-0294(代表) FAX:03-3681-0299 http://www.fep0294.co.jp
支店/多摩・埼玉・千葉・茨城・神奈川・東北 営業所/日野・青柳・川越・栃木・佐野・長野・名古屋・福島